

自治センターだより
やまはし
11月号

編集と発行 山橋自治センター
発行責任者 十文字 秀 男
発行日 平成27年11月1日
電話 0247-26-1065
FAX 0247-26-3109



**第40回山橋地区文化祭開催
「地域に活力を与えよう」**

11月1日第40回山橋地区文化祭・山橋宝の里まつりが開催された。山橋長寿会の新鮮な野菜、健寿大学の籐籠、豊遊塾の苔玉、山橋ふれあい広場、農協のふれあい広場、さくら荘入所者さん等の作品のほか山野草、盆栽、菊花などたくさんの展示物が飾られた。野外ではまちづくり委員会のグッズ、なごみの里のソバ、ヤキソバ、大判焼きほか多数の出店があり賑わった。また特設ステージでは、豊年踊りで始まり、フラダンスなどが披露された。

その後カラオケ大会があり出場者は自慢の喉を披露していた。

フットパスは板橋コースで行われた。参加者は20名で、青空の中渡邊實さんの史跡の説明を受け、東渡神社、光渡寺等深まる秋の風情を楽しみながら散策した。



賑わう宝の里まつり



強風のなか営業活動をする石ころ多

石ころ多産業交流祭へ出張

10月25日に母畑レークサイドで開催された産業交流祭に、石ころ多が出張し営業活動をしてきた。まちづくり委員会、企画推進委員、山形クラブの方々ご協力有難うございました。



芸能祭をフラダンスでもりあげる

※ 菊花作品展入選者

- 福島民報社賞 須藤 勇二
- 福島民友社賞 遠藤 広吉
- 町民ニュース社賞 橋本 喜満
- 夕刊いしかわ賞 橋本 春喜
- 山橋区長会長賞 十文字タミ
- あぶくま石川農協賞 矢内 鷹嗣

※ 老人作品展入選者
金賞

- 福島民報社賞 添田 勲
- 福島民友社賞 添田 サヨ
- 町民ニュース社賞 太楽 光
- 夕刊いしかわ賞 我妻 貞正
- 石川町長賞 添田 健彦
- 石川町議会議長賞 橋本 春喜
- 石川郡老連会長賞 須藤 栄
- あぶくま石川農協賞 小松栄次郎

- 銀賞 鈴木英子他6名
- 銅賞 遠藤勝衛36名

11月の主な予定

日	曜	行事予定	備考	日	曜	行事予定	備考
7	土	産業おこし部会研修旅行	群馬	19	木	健寿大学	自治センター
13	金	ふれあい広場事前会議	自治センター	21	土	伝達料理講習会	調理室
15	日	県議会議員選挙投票日		21	土	羽生ゆるキャラサミット	埼玉
18	水	ふれあい広場	自治センター	27	金	まちづくり日大藤沢へ	神奈川

ふれあい広場開催

ふれあい広場第2班（遠藤広吉班長代行）は10月14日利用者25名、ボランティア他14名で行事を開催した。

今回は文化祭に備えて作品づくりという事で、色とりどりのコスモスの造花を作成した。

当日は穏やかに晴れ渡り温かい日だったので利用者さんたちも大変喜んでいました。



作品を前に利用者さん



矢内先生の指導を受ける受講者

健寿大学でも作品づくり

健寿大学（矢内鷹嗣委員長）は10月21日楽多夢（らたん）の矢内文子先生を講師に招き31名の参加で10月の事業を行った。

今回は文化祭に備えて作品づくりで、おやつ皿とパン籠に挑戦した。編み方が分からず先生に聴きながら、苦勞して取り組んでいた。文化祭が楽しみです。



今年も麴づくり

まちづくり委員会産業おこし部会（大平周一会長）は23日会員13名でお米30Kgを使用し麴づくりを始めた。例年この時期に行っているもので、出来上がるまで4～5日かかる。

また、出来上がった麴を使って自家製味噌作りも計画している。



蒸したお米を冷ましているところ

二本松に視察

菊づくり愛好会（矢内鷹嗣会長）は12名参加で、10月21日に先進地である二本松の菊人形会場に展示されている菊を視察した。

菊づくり愛好会は毎年文化祭を目標に菊の育成に励んでいる。有名な会場に展示されている菊を観賞し、菊作りの参考とする。仲間を募集している。



会場入り口前で参加者

第百五十八回 望月俳句会作品抄
平成二十七年九月三十日
於 山橋自治センター
当季雑詠

彼岸花 今が盛りに 咲き乱れ
秋の蚊や まとわりつくや 鼻の先
一様に なびきし稲田 風走る
眠れずに 句作に浸る 夜長かな
ひさびさの 秋晴れに心 遊ばされ
コスモスの 群れのささやき止どまらず
石垣の 萩の白さに 風遊ぶ
散歩道 木の実ポトリと 背な叩き
潮の音に 彩とりどりの 花と人
ダリア園 更けゆく宿の 星月夜
こおろぎの 演奏続く 庭の隅
紅色に 頭揃えし 曼殊紗華

幸 恵
よし子
洋子
紀栄
多美
茂登